



季節の生き物

～モグラ～

寒さが最も厳しい2月がやってきました。みなさんは寒くて部屋に閉じこもりきりではありませんか？ 彩湖では、水鳥達が水草を食べたり、岸边でのんびりと羽を休めたりしています。センターのまわりは、木々が、すっかり葉を落とし樹形がハッキリわかるようになっています。そのおかげで、鳥の巣を見つけたり、枝にぶらさがっているクワコのマユを見つけたり、ガガイモのタネなど、たくさんの発見があることに気づきます。

そんな中、落ち葉をふみながら歩いていると、地面のあちこちに土が盛り上がっているのを見かけます。これはモグラ塚と言ってモグラが地面の下にトンネルを掘って、その土を地表に押し上げた跡なのです（特に冬の間、草が枯れて、モグラ塚が目立つのです）。ではモグラは、いったい真っ暗な土の中でどんな生活をしているのでしょうか？ 今月はモグラと、その仲間についてご紹介します。



モグラ塚

まず、日本には何種類のモグラがいると思いますか？ →ズバリ！ 8種類います。その中のひとつ、中型の「アズマモグラ」という種類が私達が住んでいる関東で生息しています。体長は約12～17cmで視力はあまり良くなく、しっぽはとても短いです。食べ物は主にミミズで、他に昆虫や幼虫なども食べる食いしん坊です。

では、視力が弱いのにどうやって獲物をつかまえる事が出来るのでしょうか？ →それはモグラの鼻先に理由があります。鼻先にはとても弱い感覚や、ゆれを感じ取る感覚器管が発達しています。なので、暗い中でもしきりに鼻を動かして獲物をつかまえる事が出来るのです。

他にも「ヒミズ」というモグラの仲間がいます。これも同じように鼻先を動かして獲物をつかまえます。ひとつ違うのは、モグラ塚を作らないで、落ち葉の下に浅く溝のようなトンネルを作ることです。ですから地面の上の落ち葉がカサカサと動いたら、もしかしたらヒミズが通っているかもしれません（会ってみたいですね）。

この様に私達がいつも歩いている地面の下は、なかなか見ることが出来ない世界ですが、モグラなどの生き物たちが毎日忙しく動きまわっている姿を想像すると、なんだか楽しく思えてきます。ぜひ、みなさんも外に出て冬の散歩に出かけてみてはいかがでしょうか？ (S)



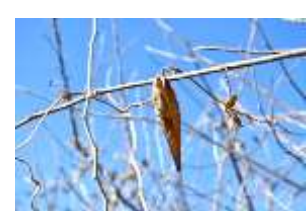
鳥の巣



クワコのマユ



モグラ塚



ガガイモのタネ

～春の特別企画～

○自然写真パネル展「彩湖・自然にカシャッ！」

彩湖周辺で見られる自然界の生き物たちの姿や、四季折々の自然風景などを記録した色彩豊かな写真展です（下の写真は昨年度出品作品の一部です）。

期日：3月1日（木）～3月31日（土） 場所：福祉保健センター（戸田市上戸田5-6）

期間中の休館日：4日（日）、18日（日）、21日（水）



彩湖自然学習センター休館のお知らせ

～施設改修工事のため、3月まで休館いたします～

休館期間：2018年1月4日～3月末（予定）

散策路さんさくろの通行はできますが、駐車場や道路の工事も行っていますので、利用の際は、ご注意ください。講座は、一部会場に変更がありますが実施します（申込みの際に説明いたします）。

※詳しい内容はホームページ、またはセンターへお問い合わせ下さい

彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市内谷 2887 番地

Tel：048-422-9991 FAX：048-422-9993

★センター休館中のお問い合わせ時間

平日 10:00～17:00

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)

をご覧ください。

